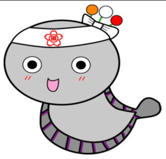
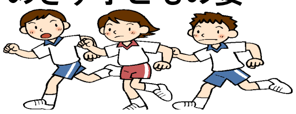
御在所の風



志布志市立田之浦小学校
学校だより　文責：川邊真人
令和６年３月１９日発行

教　育　目　標　「心豊かでたくましい体をもち，自ら学ぶ『田之浦の子』を育成する」

めざす子どもの姿
【やさしく】　思いやりの心をもち，相手を尊重できる子
【かしこく】　自ら学び，考え，粘り強く学習を続ける子
【たくましく】　命の大切さを知り，自ら鍛える子



3月

節目を生かし，さらに成長していきますように

田之浦小学校の周りには，多くの竹が群生しています。環境整備のため，なたやチェンソーを使って伐採することもありますが，その度に，竹の「しなやかさ」「強さ」を感じます。

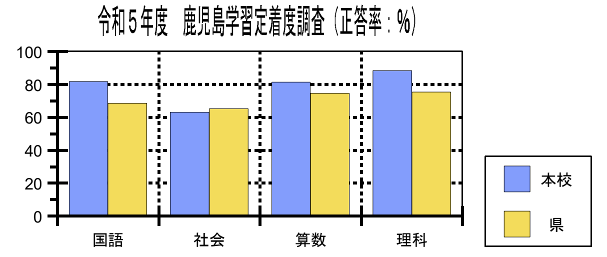
「竹」は，強い風や雨に負けず，時には雪など重いものがのしかかっても耐えることができます。それは，わずかな風でも「竹全体」で受け止める「しなやかさ」と，何百キロもある力をそり返して跳ね返す「力強さ」をもっているからです。この「しなやかさ」「力強さ」には秘密があります。

竹は，種から発芽まで４年以上かかるそうですが，その間何もないかというとそうではなく，その間は，根をのばしています。その長さは１年間に７～８ｍ。４年以上かけて，竹を支える準備をするのです。そして，いよいよ発芽。芽を出した「竹」は，「節目」をつくりながら成長を始めます。この「節目」には，「成長点」があり，その節目ごとに竹は成長し，種類によっては，竹全体で１日に80～100㎝ほど成長し，２か月で20ｍにもなります。また，太い幹の木やコンクリートの電柱が嵐で倒されたとしても，この節目のおかげで，竹全体がしなやかなため，倒れた竹は折れることなく，また起き上がって生き続けます。

「節目」をつくり，外からの様々な力に対して力強く受け止め，成長していく姿は，まさに，子供たちが，それぞれの夢や目標に向かって頑張る姿そのものです。大きく真っすぐ伸びる竹のように，真っすぐな心をもって，たくましく大きく成長してほしいと願うのは親，教師だけでなく，周りの地域や先人の方々など誰もが望む子供の姿です。子供たちには，学業はもちろん，人間関係など様々な困難が次々と降りかかることが多い昨今です。だからこそ，その時々の成長の起点となる「節目」において，これまでの自分の歩みはどうだったのか，そして，これからどうしていけばよいのか，反省とともに新たな夢や希望を抱き，自ら気付き、考え，実行できる子供であってほしいと願っています。
令和５年度が終わり，令和６年度が始まる大切な節目。子供たちが，これからもどんな成長を見せてくれるのか楽しみにしています。

最後になりますが，本年度も，残り１週間となりました。保護者，地域の皆様には，子供たちのために様々な御理解とお力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。また，来年度も，本年度同様，保護者の皆様はもとより，地域の皆様からも，子供たちへの温かい励ましをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

鹿児島学習定着度調査の結果について



今年１月に，５年生を対象に実施された「鹿児島学習定着度調査」の結果について，報告いたします。

４教科のうち，３教科については，県平均の正答率を上回りましたが，社会については，県平均をやや下回る結果になりました。概ね子供たちは，基本的な学習の内容は定着しているものの，複数の資料（表やグラフ，図など）から必要な資料を選択し，情報を読み取る力に課題が見られました。これからも，資料を活用する場面を授業の中で設定し，資料の見方や考え方について，さらに理解を深められるように改善を図っていきます。